



(写真：上段左から①大学都市の眺望 ②図書室のフェルナン・レジェのステンドグラス ③アレクサンダー・カルダーの「雲」 ④世界遺産のプレートの前で 下段左から①ジャン・アルブの彫刻の前で ②自然科学博物館 ③その内部 ④ロス・カボス公園「金の象」)

ユネスコの世界遺産「カラカスの大学都市」を訪ねる教員研修会を実施しました！ ベネズエラ中央大学を訪ね、大学都市と芸術の融合に感動しました！

ベネズエラには、世界遺産が3つあります。文化遺産は、「コロとその港」と「カラカスの大学都市」の2つ、自然遺産が「カナイマ国立公園」です。「コロとその港」は、昨年度の修学旅行で訪ねました。当時の古い美しい街並みが保存されていました。今回、教職員研修として、2月4日(土)に、世界遺産「カラカスの大学都市」と自然科学博物館を訪ねてきました。ベネズエラ中央大学は、大学都市と芸術の融合が素晴らしく、当時のベネズエラの先進性がよく分かりました。この研修で学んだことを何らかの形で、子どもたちの教育に還元したいと思います。

★★★★ ベネズエラの三つの世界遺産の紹介 ★★★★★

【カラカスの大学都市】カラカスの大学都市は、ベネズエラの首都のカラカスにあるベネズエラ中央大学を中心とした学園都市で、2000年ユネスコの世界文化遺産に登録されました。ベネズエラでは1939年に大規模な都市再開発が始まり、その一環として新しい大学都市の建設が計画されました。1945～1960年にかけて築かれた面積1.64平方キロメートルにおよぶベネズエラ中央大学のキャンパス。建築家のカルロス ラウール ギリヤヌエバなどの前衛芸術家により近代的な計画都市が設計されました。中でも有名なのが、ベネズエラ中央大学の講堂アウラ マグナには、アメリカの彫刻家アレクサンダー・カルダーの代表作、「雲」があります。世界遺産に登録された建物80ビル。世界遺産に登録された芸術作品107個。参加した芸術家25名。



【コロとその港】1993年に世界遺産(文化遺産)登録。コロ(Coro)は、カラカスの西、約180kmにある町でカリブ海に面している。ファルコン州の州都でもある。初期の入植者であるスペインのコロニアル様式と、コロの対岸の島を支配していたオランダのバロック形式とが融合した街並みが残る。2004年現在、約600の歴史的建造物が残る。

【カナイマ国立公園】1962年にベネズエラの国立公園に指定されている。1994年、ユネスコの世界遺産(自然遺産)として登録されている。未だに人類未踏の場所が点在し、世界最後の秘境ともいわれる。特に、世界一の落差(979m)を誇るエンジェル・フォール(サルト・アンヘル)が有名。この滝は1937年、米国人パイロット、ジェームズ・エンジェルによって発見された。

